

西山地域の淡竹林の整備と淡竹水煮加工販売による地域活性化事業

取組に至る背景・事業の目的

長野市信州新町、長野市中条、小川村などの西山地域において、手入れが行き届かない竹林が増え、地域景観の保護等に課題が出てきている。そのため地域住民が竹林整備を行う仕組みを作るとともに、淡竹を特産化することにより地域活性化を図る取組を実施した。

事業内容

荒れた竹林の整備を地域住民により行い景観の保護を行うとともに、伐採した竹を粉碎する機械を導入し、堆肥化等に活用するなど、竹の後利用を図るための取組を実施した。

地域住民に淡竹の収穫・提供を呼びかけ、西山地域の淡竹を買い取り水煮加工して商品化し、スーパー、道の駅等での通年販売、また学校給食利用への展開をする事により特産化を図った。

事業効果

竹藪の伐採・間伐を実施(平成23年度6か所、平成24年度(10月時点)8か所)し、地域景観が改善された。また鳥獣との緩衝地帯としての役割も期待できる。

伐採、粉碎した淡竹が堆肥センターにおいて有償買い取りされるなど、不用となった竹の後利用が図られた。

また、地域住民から13tの淡竹を水煮用の原材料として買い取り、加工し、主に道の駅で販売するなど、特産化に向けて端緒を開くことができた。



【竹林整備作業】



【竹林整備後】

工夫・苦労した点、課題、今後の取組など

他団体と連携して、粉末化した不用な竹を家庭の生ごみ処理に活用し堆肥化させる取組を実施していくことにより、伐採した竹の再利用を行い、竹林保全を推進していく。

住民から買い取る淡竹は、当初不良品等もあり加工できる量が少なくなってしまうため、加工に適した大きさ等の住民向けの説明会を実施するなど、特産化に向けて品質向上、安定供給できるよう取り組んでいく。

竹の再利用や事業継続できるよう仕組み等を検討し、費用を確保しつつ地域全体へ広げていく。

【選定のポイント】

竹の粉碎機導入と竹林の所有者及びボランティアの協働により荒廃林の整備が進んだほか、新たに竹のチップを活用した生ごみ処理を環境保全ボランティア団体とともに取組むなど事業効果の広がりが見られる。

また淡竹の特産化に向け、淡竹提供者への情報提供や製造方法の見直しなど、事業継続できる仕組みづくりが図られている。

団体名	西山淡竹会(長野市)	事業タイプ	ソフト事業
連絡先	アルプス計器内 西山淡竹会事務局 (電話) 026-262-2111	事業費	1,448,895円
		支援金額	965,000円